

2017年12月 今月のトピック

『テーマ型株式ファンドの動向』

アナリスト 標 陽平

2017年12月14日作成

外国株式型ファンドのうち、テーマ型に分類されるファンドについて、過去の動向を確認した。

『ポイント』

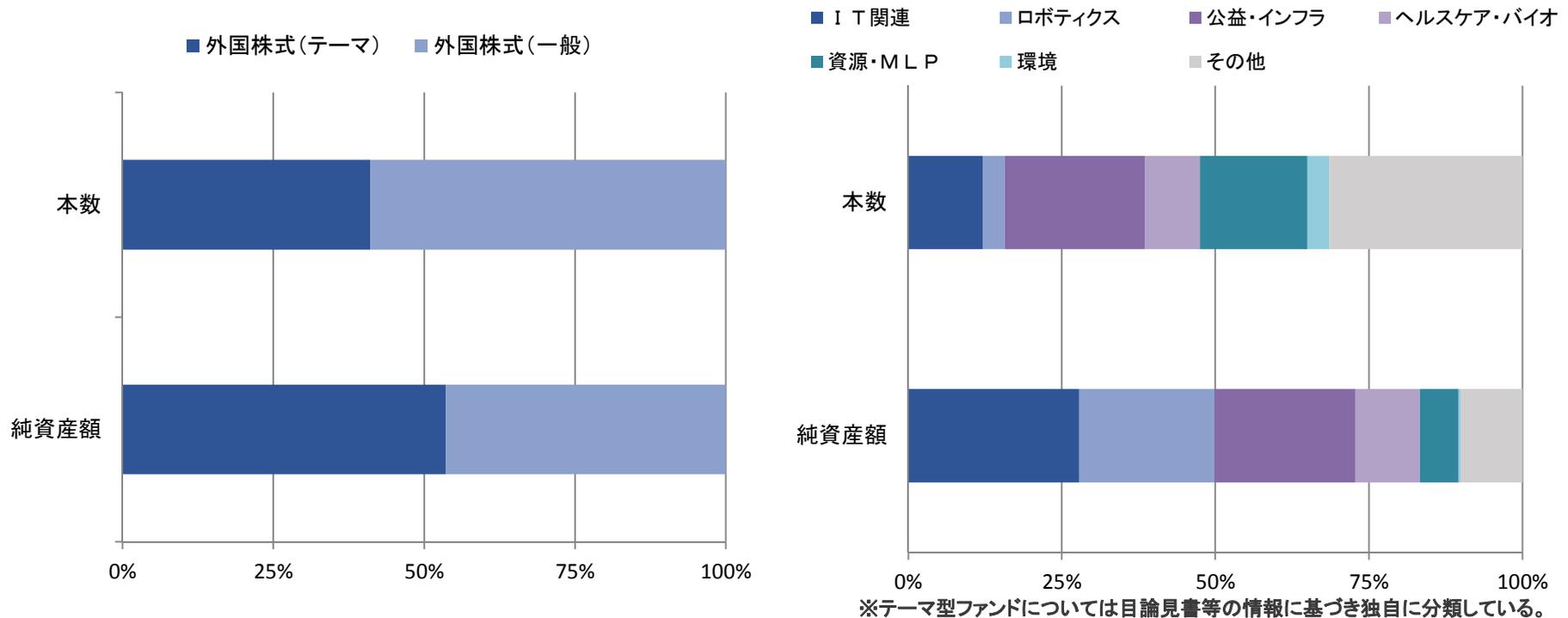
- 外国株式型ファンドにおけるテーマ型ファンドは設定本数が増加傾向にあり、2017年は過去最高水準となった。また、純資産額についても、2017年11月末時点において他の一般的なファンドを上回る水準にある。
- テーマ型ファンドの償還本数の割合や償還までの運用年数について確認したが、一般的なファンドとの間に明確な差異はみられなかった。
- 主要なテーマ（IT、公益・インフラ、資源・MLP、ヘルスケア・バイオ）のうち代表的なファンドのパフォーマンスを確認した。テーマによってリスク・リターン水準は大きく異なるため、テーマが有するリスク水準について十分に把握することが望まれる。

■ テーマ型ファンドの本数、純資産額

テーマ型ファンドの定義はさまざまであるが、ここでは最も認知度が高いと思われる外国株式型ファンドにおける業種特化型等に分類されるファンドについて確認する。

左下図は、テーマ型ファンドと一般的なファンドの本数、純資産残高の比率を示したものである。2017年11月末時点において、外国株式型アクティブファンド（ETF、DC専用、ラップ専用を除く追加型公募投信）は約700ファンド、純資産額は約10兆円に上っているが、テーマ型ファンドは一般的なファンドと比較し本数ベースではやや劣るものの、純資産額ベースでは上回っていることが確認できる。

右下図では、テーマ型ファンドのうち、主要なテーマに分類されるファンドの本数、純資産額の比率を示した。近年、注目を集めているIT関連やロボティクスといったファンドは本数ベースでは少ないものの、純資産額ベースでは両者を合わせて約50%を占めている。足元の資金流入が好調なことで、大幅に純資産額が増加したことが影響しているものと考えられる。



※テーマ型ファンドについては目論見書等の情報に基づき独自に分類している。

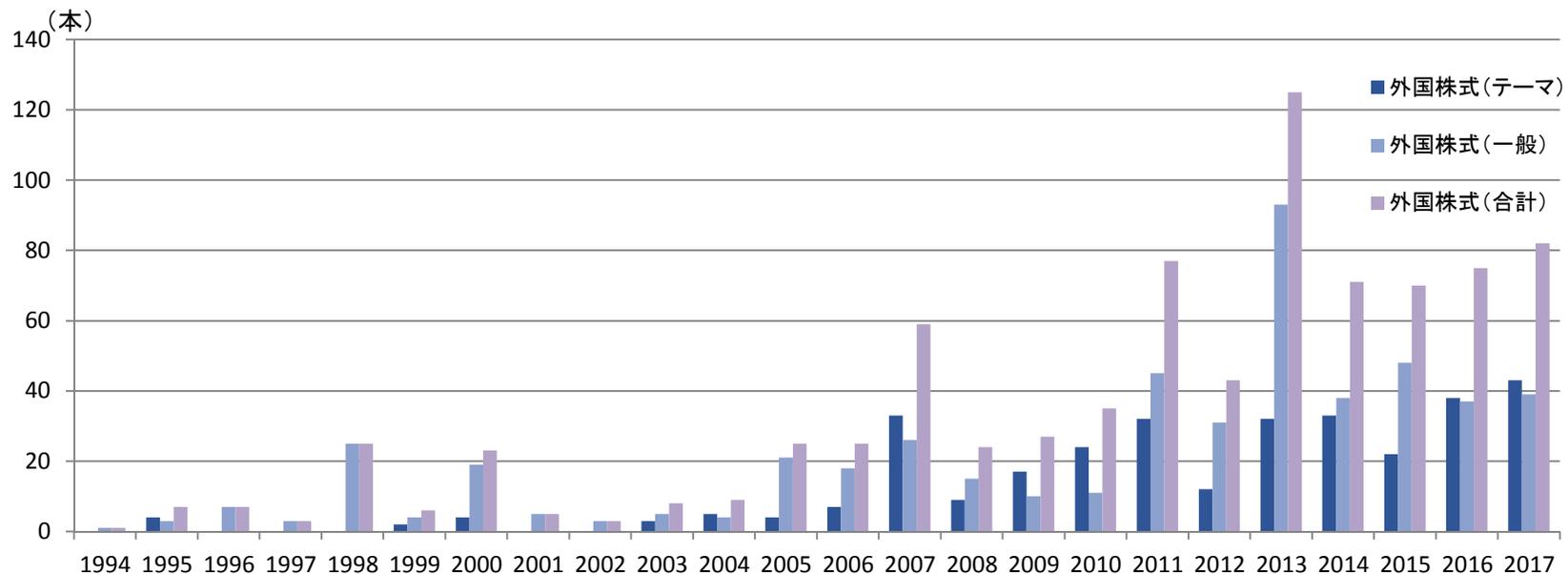
■ テーマ型ファンドの設定動向

下図は、テーマ型ファンドと一般的なファンドの各年の設定本数の推移を示したものである。2000年代以前に設定されたテーマ型ファンドの中心となったのは情報技術関連セクターに投資するファンドで、ITバブルを意識した設定が散見された。2000年代前半はヘルスケア・バイオ関連のファンドが設定されているものの、その本数は低水準に留まっている。

リーマンショックの前年にあたる2007年には環境をテーマとしたファンドが数多く設定され、一般的なファンドの設定本数を上回った。その後、2000年代後半から2010年代前半にかけては公益・インフラや資源・MLPといったセクターに注目したファンドの設定がみられている。

足元の直近2年あまりでは、IT関連、特にAI(人工知能)関連企業に投資するファンドやロボット関連企業に投資するファンドが多数設定されており、2017年のテーマ型ファンドの設定本数は11月末時点で既に40本超と過去最高の水準に達している。

＜外国株式型ファンドの設定本数の推移＞



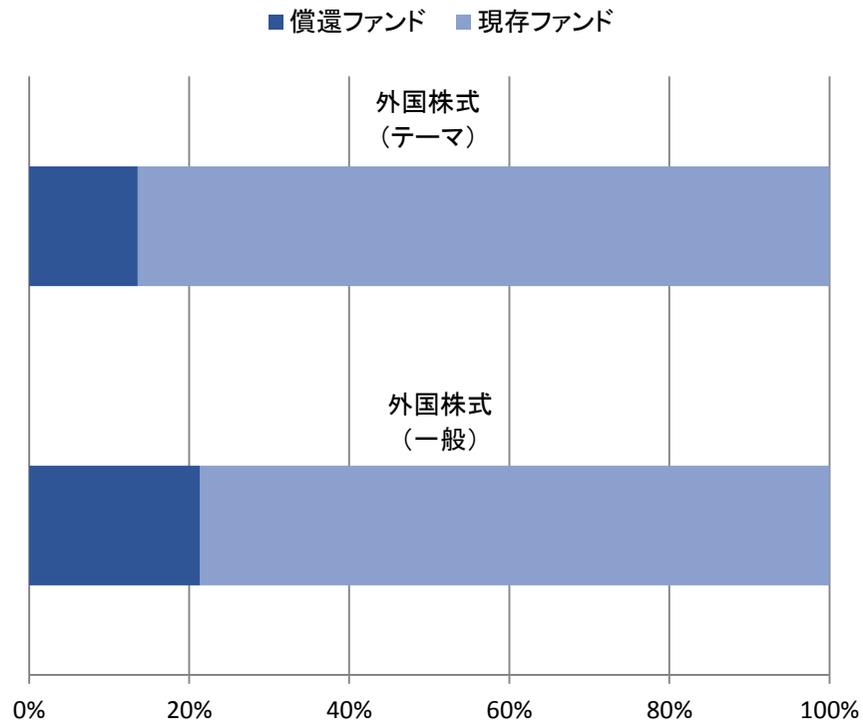
■テーマ型ファンドの償還動向

左下図では、1994年以降に設定されたテーマ型ファンドと一般的なファンドについて、償還ファンドと現存ファンドの割合について比較した。償還ファンドの割合は、一般的なファンドの方がやや多くなっている。

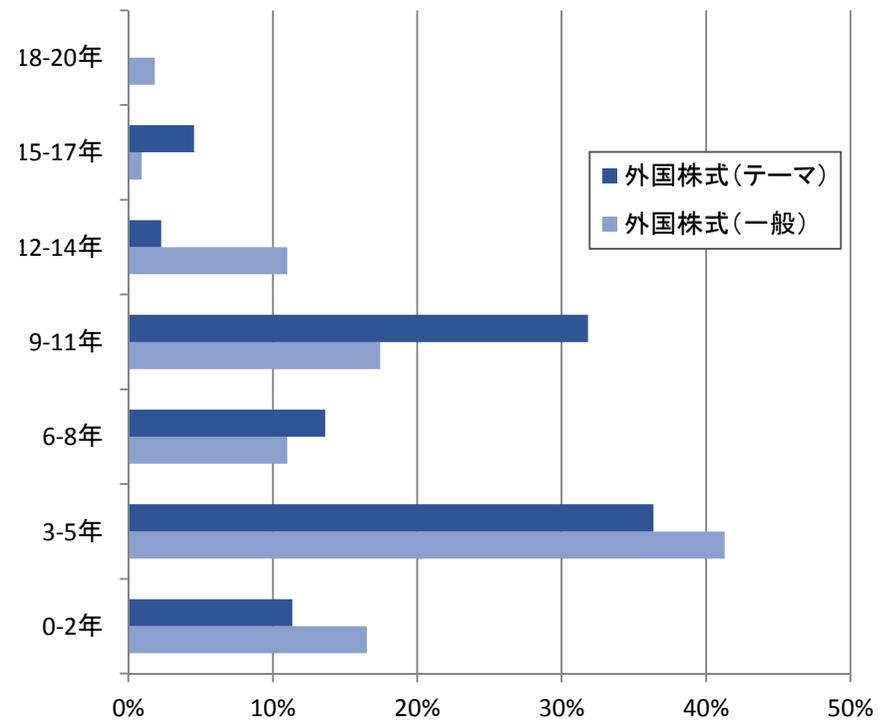
右下図では、償還したファンドが設定されてから償還するまで運用した年数の分布について示しているが、9～11年、12～14年で若干の差異が生じている程度であった。平均償還年数についても約6年程度と両者ともほぼ同水準となった。

一般的にテーマ型ファンドは長期投資に適さないとされるが、償還動向をみる限りではその傾向は確認できなかった。

<外国株式ファンド全体における償還ファンドと現存ファンドの割合>

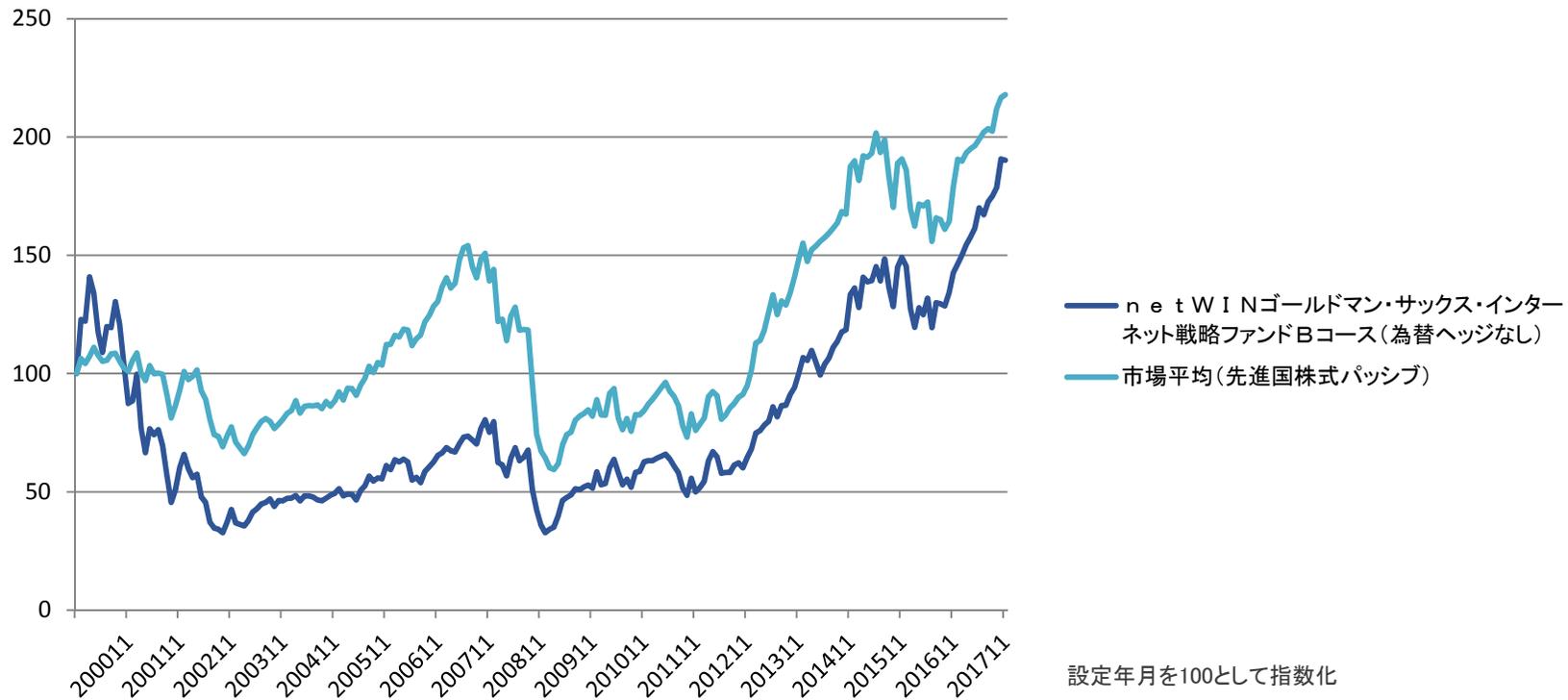


<償還ファンドの運用期間の分布>



■ 主要なテーマ型ファンドのパフォーマンス推移 (IT関連)

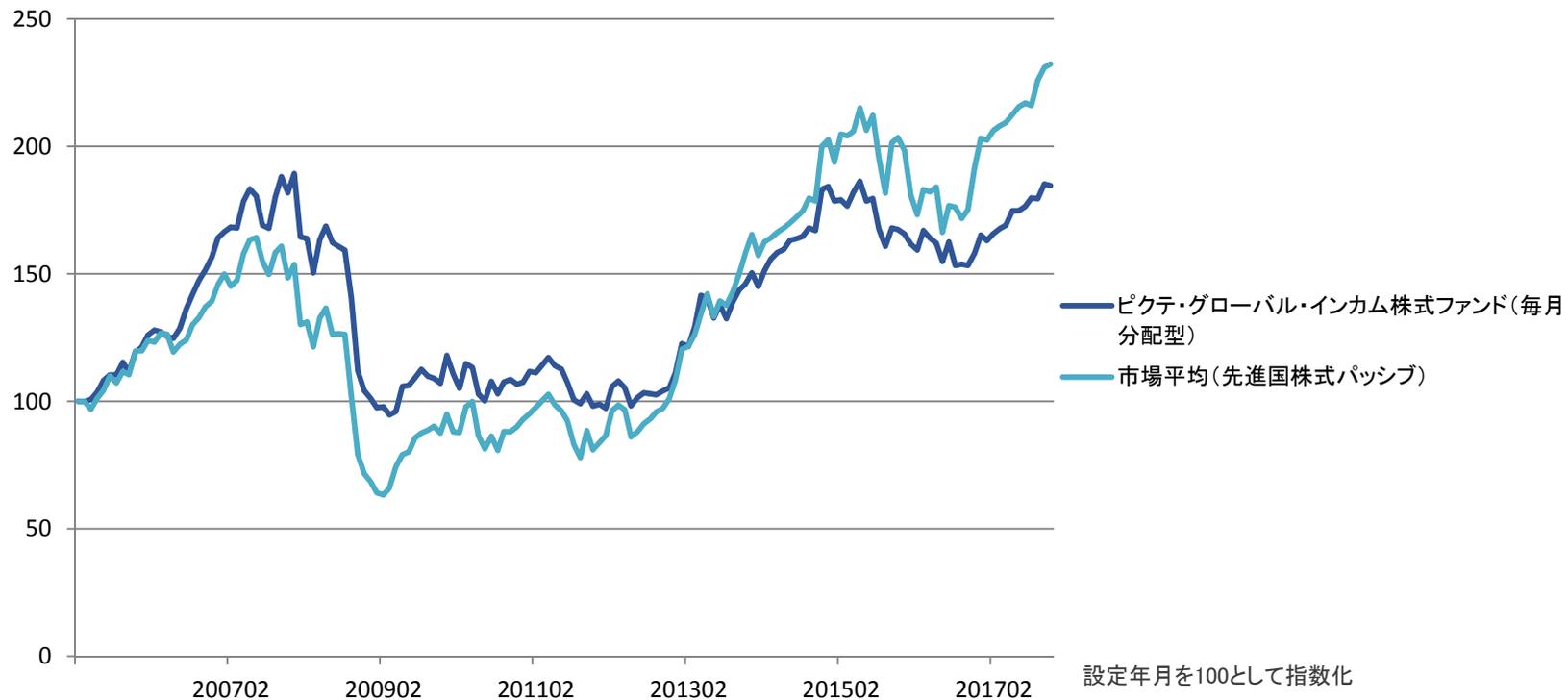
ここからは、主要なテーマ型のうち代表的なファンドのパフォーマンスを確認する。下図のとおり、IT関連ファンドのパフォーマンスは、2000年のITバブル崩壊時に市場平均を大きく上回る下落率となり、50%超の下落となった。しかし、その後のリーマンショックを境にその差は縮小し市場平均には及ばないものの大幅に回復している。当該期間のリスク水準は市場平均よりも大きく、テーマ型ファンドの特性を如実に表していると言える。



ファンド名	運用会社名	設定日	純資産額 (百万円)	運用管理費 用(%)	累積リターン (%)	年率リスク (%)	市場平均累積 リターン(%)	市場平均年率 リスク(%)
netWINゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドBコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン	1999/11/29	94,122	2.052	90.23	27.02	117.83	18.87

■ 主要なテーマ型ファンドのパフォーマンス推移(公益・インフラ)

次に公益・インフラ関連ファンドのパフォーマンスを確認する。公益・インフラ関連ファンドは電力・ガスや通信インフラなどのディフェンシブ銘柄を多く組み入れている影響から、ボラティリティは市場平均よりも低く、下落局面に強い特徴がある。下図では、リーマンショック時において市場平均よりも低い下落率となりパフォーマンスは優位に推移したが、近年の良好な相場環境では、市場平均に劣後する格好となった。



ファンド名	運用会社名	設定日	純資産額 (百万円)	運用管理費 用(%)	累積リターン (%)	年率リスク (%)	市場平均累積 リターン(%)	市場平均年率 リスク(%)
ピクテ・グローバル・インカム株式 ファンド(毎月分配型)	ピクテ	2005/02/28	645,683	1.788	84.62	15.55	132.28	19.81

■主要なテーマ型ファンドのパフォーマンス推移(資源・MLP)

資源・MLP関連ファンドは、資源価格の変動の影響を大きく受けるため、株式市場との相関は高くない。リスク水準は30%近くと市場平均よりも大幅に高い水準となっている。また、最終的な累積リターンがマイナス圏に陥っており、株式市場の平均とは大きな開きが認められる。



ファンド名	運用会社名	設定日	純資産額 (百万円)	運用管理費 用(%)	累積リターン (%)	年率リスク (%)	市場平均累積 リターン(%)	市場平均年率 リスク(%)
世界資源株ファンド	三菱UFJ国際	2006/01/20	3,792	2.0304	-2.81	29.38	87.56	20.26

■主要なテーマ型ファンドのパフォーマンス推移(ヘルスケア・バイオ)

ヘルスケア・バイオ関連ファンドは設定当初から市場平均を上回るリターンを挙げていたが、2012年に再び関連銘柄が注目されたことで大きく上昇した。このように、一般的に長期投資に適さないとされるテーマ型ファンドではあるが、長期保有することで再度上昇トレンドを迎える可能性もある。

これまで確認したように、一言でテーマ型ファンドといってもテーマ毎にリスク水準は大きく異なる。将来的な上昇の可能性ばかりに留意するのではなく、当該テーマが有するリスク水準について把握することが望まれる。



ファンド名	運用会社名	設定日	純資産額 (百万円)	運用管理費 用(%)	累積リターン (%)	年率リスク (%)	市場平均累積 リターン(%)	市場平均年率 リスク(%)
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープンBコース(為替ヘッジなし) (健太)	三菱UFJ国際	2000/07/28	9,119	2.376	389.62	17.17	101.08	19.11

- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- MAB投信指数「MAB300」(以下、本指数)に関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、本指数を商業的に利用する場合にはMABの利用許諾が必要です。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

標(しめぎ)・勝盛・大野

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会